

令和5年度 岐阜県各市町村教育委員会の特色ある事業一覧表

地区	市町村名	事業名	事業の概要
岐 卓	岐阜市	心の健康サポート ・ココタン ・校内フリースペース	ICTを活用し心の様子を客観的にとらえられるよう「ココタン」を導入した。また草潤中のノウハウを生かし市内5校に「校内フリースペース」を整備し安心して登校できる環境を創出した。
	羽島市	子どもに新たな居場所を 校内適応指導教室設置 事業	不登校の増加やニーズの多様化を受け、学びの選択肢や機会を多くするため、校内適応指導教室や仮想空間(メタバース)を活用した支援を行う。
	各務原市	オオサンショウウオ調査 隊2023 (2年目)	寺子屋事業の一環として、木曾川に生息するオオサンショウウオ(特別天然記念物)の捕獲調査を体験し、実際に見て触れることで生態や身体の特徴について学んだ。
	山県市	こどもサポートセンター プレオープン	不登校や集団不適應、発達の違いなどの相談にワンストップで対応する窓口をプレオープンした。学校と連携し、きめ細やかな適応支援と学習支援をしている。
	瑞穂市	AIによる保育所入所判定 保育士等支援アドバイ ザー事業	保育所入所判定にAIを活用し、公平公正でスピーディに結果を判定し、保護者の不安解消を図る・保育士等支援アドバイザーの活用による保育士の離職防止と勤務環境の改善
	本巣市	不登校対策事業 (3年目)	不登校の子供たちの居場所として「本巣の学び舎」を設置。学校復帰や社会的自立へのエネルギーを補給することを目的に、個に応じた学びや体験の場を保障している。
	羽島郡二町 岐南町・笠松町	地域、家庭、学校が連携 したキッズウィーク (6年目)	「子どもの生活全てが学びの場」という考えの基、秋休みを利用して実施する「キッズウィーク」は、家族や地域とのつながりを深め、子どもたちの主体性を育む機会としている。
	北方町	英語検定等受験料補助 事業	生徒の英語力及び学習意欲の向上を目的として、英検IBAの成績上位者を対象に、TOEIC試験を受験する生徒の保護者に対し、受験料の半額の補助を行う。
西 濃	大垣市	ARアプリを活用した文化 財の普及啓発 (2年目)	美濃国分寺及び屋敷大塚古墳の当時の姿等を体験できるARアプリを公開するとともに、市内小中学生の学習に活用することで、文化財の普及啓発を図っている。
	海津市	多様な個性を引き出す居 場所づくりの推進 (2年目)	不登校傾向を示す子どもたちの居場所をつくるために、教育支援センターを令和4年度より1教室増やし、2教室とし多様な個性を引き出す居場所づくりの充実を図っている。
	養老町	スマイルゲンちゃん学習 会 (8年目)	様々な理由から家庭で学習が困難な児童生徒に対して学ぶ場(公民館を活用)提供する事業で、本年度よりオンラインを活用して支援方法を工夫した。
	垂井町	学力向上プロジェクトチ ーム(3年目)	国語科、算数・数学科、英語科の小中学校の教員が一緒のチームとなり、学力向上の手立てを究明する。授業で活用できる指導のポイントと評価問題を作成し、全学校に配布している。
	関ヶ原町	子ども体験教室	希望児童を対象に、県内外にある生涯学習施設を訪れての体験学習やスキー・スノーボード体験学習を行い、感動する心や自然や文化に興味を持つ心を育てる事業を行っている。
	神戸町	神戸山王まつりを柱とす るふるさと教育	県重要無形民俗文化財である「神戸山王まつり」について学んだり体験したりする活動を通して、ふるさと神戸町への誇りと愛着をもつ子どもたちの育成を図る。
	輪之内町	夏休み寺子屋 「WA～ラーニング～」 (3年目)	自学できる子を育てるために、夏休みに各小中学校において、地域学校協働活動の一環としてボランティアの協力も得て寺子屋を開設している。
	安八町	理科教育の充実事業	理科好きな児童生徒の育成に向け、町内施設の天文台(プラネタリウム)を活用し、小学校4年生と6年生に天体についての授業を実施している。
	東安中学校組合	地域の魅力発見事業 (2年目)	学校運営協議会と学校が協力し、生徒が校区にある史跡や名所などを巡る「地域の魅力発見ウォークラリー」を実施している。

地区	市町村名	事業名	事業の概要
西 濃	揖斐川町	地域学習支援事業 「地域学び塾」 (2年目)	長期休暇中の子どもたちの居場所づくりや自主学習支援、学習講座等を行う。町内公民館8カ所、7・8月に15日間開設。講師は、教員OBや地元大学生で行う。
	大野町	大正・昭和体験ツアー	大正期に建てられた国登録有形文化財の旧北岡田家住宅において、子ども達が地域の人々とふれあいながら大正・昭和の文化と暮らしを知る活動を行い、地域の文化財への関心と郷土愛を深める。
	池田町・養基組合	「ぬくもりがあふれる町池田町」を支える教育	・各学校が地域性に応じた魅力ある学校づくりを進める。 ・「地域つきあい」の重要性を啓発する教育の充実を図る。
美 濃	関市	関市学校教育夢プラン (11年目)	「夢のある明るい学校」のスローガンのもと、児童生徒の可能性を引き出すために、学校教育夢プランとして、7分野41事業を展開している。【拡充】8事業 【新規】2事業
	美濃市	学校選択制の導入	子ども(保護者)が就学先を自己選択できる体制として学校選択制を導入した。小中への入学時及び小4への進級時に、市内全校から選択できることとした。
	郡上市	少年スポーツ推進事業「地域クラブ活動への移行」 (1年目)	学校部活動を地域クラブ活動へ移行する環境を整え、小・中・高・一般が共に活動し、地域の新たなスポーツコミュニティを生み出す取り組みを推進する。
可 茂	美濃加茂市	教育課程特例校 (外国語活動) (8年目)	コミュニケーション能力の向上や異文化を理解し尊重する態度の育成等を目的とし、市内すべての小学校1・2年生において、「外国語活動」を設置している。
	可児市	ばら教室KANI運営事業 (19年目)	来日して初めて市立小・中学校に編入する外国籍児童生徒を対象とし、学校教育で必要な生活指導や初期的な日本語指導、算数・数学の教科指導等を行っている。
	坂祝町	コミュニティスクール だいすき！ SAKAHOGI (5年目)	園・学校を核とし、「すべての子どもたちを地域総がかりで育てる」ことを目的とし、2019年4月に坂祝町コミュニティスクールを立ち上げ、5年目を迎えた。
	富加町	地域学校協働活動の推進	「地域の子どもは地域で育てる」を基本方針に、地域学校協働活動を推進している。コミュニティ・サポーター80名が、子どもたちのために活躍している。
	川辺町	川辺町小中学校再編計画に向けた歩み	校舎老朽化や少子化対策等の諸課題に対して解消をしつつ、小中学校の再編について、町内の3小1中を統合するための議論を進め、2030年開校に向けた計画に取り組んでいる。
	七宗町	過疎が進む地域の土日部活動の地域移行支援 (2年目)	学校と地域指導者、教育委員会が連携して取り組む部活動運営の方針・組織づくりを推進している。地域指導者が中心となり、土日部活動の完全地域移行が完了している。
	八百津町	人道教育推進事業 (10年目)	児童生徒の人権意識を高めるため、杉原千畝氏の業績を学び・発信する各学校の活動を支援するとともに、町としても、講演会などの行事を提供する。
	白川町	白川町教員指導力向上プロジェクト (2年目)	自ら学び続ける教職員集団を育成するために、町内小中学校の教職員ネットワークを構築し、自己のキャリアに応じた指導力向上の研究に取り組む場を提供する。
	東白川村	少人数のデメリット克服を目指す子どもやPTAへの応援事業	スクールバス通学の範囲と路線を拡大し、子どもの安心安全を守る。また、PTA資源回収の作業軽減を目指し、行政で回収ボックスを常設。収益はPTAに入れる。
	御嵩町	ふるさとふれあい夢づくり事業 (25年目)	地域で生きる多くの人たちとふれあい、子どもたちが地域を身近に感じ、親しみをもちながら学び、自身の夢を膨らませていく体験活動を積極的に支援している。

地区	市町村名	事業名	事業の概要
東濃	多治見市	ICT教育推進員配置事業	元校長・教頭4名のICT教育推進員が各担当校を訪問し、タブレット端末の活用支援や授業改善も含め児童生徒・教職員をサポートし、ICT教育を推進している。
	土岐市	美濃焼贈呈事業「二十歳を祝う会」(5年目)	「美濃焼のまち土岐市」を再認識してもらおうと、地元の窯元事業所から提案いただいた美濃焼のマグカップを二十歳を祝う会(成人式)にて贈呈するもの。
	瑞浪市	教育支援センター運営経費	教育相談員を各中学校区(3名)に配置している。校内教育支援センターにおいて、不登校傾向の子どもたちの困り感に寄り添いながら支援を行っている。
	恵那市	「ICT教育らぼ」を拠点とした事業	子ども達の学びの支援とICTのサポート等の拠点として設置。ICT支援員の積極的な情報発信と学校との関わり強化。学校内外問わないSTEAM教育の提供。
	中津川市	中津川市「命の教育」の推進事業(17年目)	自他の生命の尊重、思春期の心の揺れ動きを中心に外部講師(獣医師・助産師)とも連携して取組を進めている。また、いじめ問題「ちくちく言葉」を考える取組を市全体で推進する。
飛騨	高山市	不登校対策推進事業	市教育研究所内に教育支援センターを新設し、不登校等への対策・子ども学校保護者支援の中核の部署としての活動と、学びの多様化教室「にじ色」の開室準備を行った。
	飛騨市	第1回 ひだ流葉クロスカントリー2023	初秋のスキー場で1周3.3kmの、北アルプスを望む大自然のコースを周回して走るクロスカントリー大会。市内外から参加を募り、スポーツ参加人口や交流人口の増加を図っている。
	下呂市	給食費及び補助教材費の公会計化	小中学校の給食費と補助教材費を公会計化し、保護者は学校を介さずに市の口座に直接振込みとした。これにより未納率の減少と教職員の多忙化解消に繋がった。
	白川村	未来を担う人材育成事業(4年目)	白川郷の伝統文化を学んだ子ども達の将来の夢を叶える後押しをするため、企業版ふるさと納税を活用し、学業や修業に対する補助、支援を行う。